

第 123 号

2016 年 12 月

ラルーラ通信

<発行>

中部学院大学
子ども家庭支援センター
〒504-0837 岐阜県
各務原市那加甥田町30-1
Tel.058-375-3605
fax058-375-3609

誰もが自分らしく子育てができる社会へ



中部学院大学教育学部子ども教育学科
准教授 平野華織

子育ては体力が必要だといわれます。確かに、子どもがまだ幼いうちは、公園を走り回る子どもを追いかけたり、抱っこやおんぶ、お馬さんごっこも何度もせがまれます。学校にあがっても、ご飯のしたくに大量の洗濯、スポ少や部活に入ると弁当づくりや早朝の送迎など、親役割は尽きることがありません。親であれば、たとえ子どもから風邪をうつされたとしても、二、三日ゆっくり静養するなんてことはなく、しんどい体で動き回るのが世の常です。では、病気や障がいなどの理由で体力のない保護者、保護者自身に介助が必要な場合は、子どもを産み育てることができないのでしょうか？

これまで、障がいのある人の生活は、施設福祉サービスを中心として展開されてきました。しかし 1980 年の国際障害者年以降、ノーマライゼーションの浸透により、地域生活の重要性や社会参加の充実がいっそう求められるようになりました。そのような中、近年、自分らしいライフスタイルを実現するため、結婚をし、子どもを産み育てる障がいのある人が増えています。私は 2011 年に、5 人の肢体不自由のある父親を対象に、子育てをどのように工夫しているのかインタビュー調査をしたことがあります。5 人の父親は電動車椅子ユーザーで、自身に重い身体障がいがあることから、排泄や入浴ではヘルパーの介助をうけて生活をしています。5 人のうち 3 人の奥様にも、重い身体障がいがあります。みなさんは、自分自身に介助が必要な人が、子育てなんてできるのか？と思われるかもしれませんが、私がお会いした方たちは、ヘルパーの介助を受けながら子どもと一緒に入浴したり、タブレットで絵本を読んだり、外出したり、想像以上にアクティブな子育てを楽しんでおられました。子どものおむつや服を購入するときは、ヘルパーと買い物へ行き、親自身が柄や値段を考慮して選びます。一緒にレジへ行き、財布からお金をとって支払うのは、ヘルパーがします。外出先で喉がかわいたとき、子どもと一緒に何を飲むかは親が決めます。自動販売機にお金を入れてジュースをとりだすのは、同行したヘルパーがします。自分ができないことは他者の支援を受けつつ、しかし、親として子どもに必要なことは何かを考え、選び、決めることは必ずご自身でされていました。

現在、某歌舞伎役者の奥様の闘病ブログが話題になっています。母親として、子どもの世話を十分できないことへの葛藤が綴られていて、同じく子どもをもつ身として胸が締めつけられる思いがします。しかし、何らかの事情で親子が離れていても、直接何かをしてあげられなくても、親として子どもに必要なことは何かを考え続けていれば、たとえ直接のお世話は他者の力を借りていても、自分自身が主体で子育てをすることは十分可能です。実際、先ほど紹介した障がいのあるご夫婦たちは、ヘルパーなどの社会資源をフル活用し、必要な場面で選択・自己決定をして主体的に自分らしく子育てをしています。親は完全無敵なロボットではなく、生身の人間です。これからも、必要なときに十分な他者の援助が受けられ、どのような状況にあっても親が主体的に子育てに取り組めるような、誰もが産み育てやすい社会をつくる必要だと感じています。



子育て実践プログラム開催

12月14日(水)「リトミック体験で、子どもの“いいとこの芽”を見つけ」

中部学院大学短期大学部幼児教育学科 杉山祐子先生

毎日の生活に活用できる音楽遊びです。楽しみながら、子どもの内側にある“いいとこの芽”をたくさん見つけてみましょう。

今月は、幼児教育学科杉山先生のリトミック。楽しい音楽遊びを体験してみませんか？
来月は造形子ども学科森谷連先生の「お絵かきを楽しもう！」を計画しています。お楽しみに！

毎月の催し「ママと遊ぼう！」

「ママと一緒に遊ぶ！」を一番のねらいとして毎回楽しいひとときを過ごしています。1歳～3歳までいろいろな年齢の親子さんが、毎回自由に遊びを楽しんでいるそんな催しです。その一部をご紹介します。



「布で遊ぼう！」

丈夫な木綿の布を使って遊びました。小さなお子さんは「いないいないばあ」を楽しんだり引っ張りっこをしたり…ハルーンでも遊びみんなキャッキッと歓声をあげ大喜びでした。

カンガルーみたいだね



ママに引っ張ってもらって



ママは重くて動かないよー！



「小麦粉粘土で遊ぼう！」

粉に水を入れて（既に興味津々です）

小麦粉に食紅を混ぜ少しずつ水を入れて「小麦粉粘土」を作るところから始めました。サラサラの感触もドロドロの感触も楽しみました。それぞれの年齢の差があるので興味も様々。出来上がった小麦粉粘土はビニール袋に入れて持ち帰りました



粉に紛れて丸めたり伸ばしたり…



嬉しいプレゼント

先日、折り紙や画用紙・包装紙などを利用して作ったカラフルな手作りカードをたくさんいただきました。「ラ・ルーラでの活動に…」と届けてくださったのは、元中部学院大学講師 鳥居 甚吾先生。

ラ・ルーラクリスマス会の時のプレゼントに添えさせていただきます。

たくさんのお手作りにありがとうございました。



12月は楽しい催しや学生が大活躍！

ラ・ルーラクリスマス会

12月22日(12:15～13:00頃まで)

- ・親子ふれあい遊び
- ・ペープサート「森のクリスマス」
- ・歌とダンス など

学生サークル「ラ・ルーラファクトリー」主催のクリスマス会です。サンタクロースからの手作りプレゼントもあります。

ラ・ルーラクリスマス会は申し込みが必要です「招待状」を作って待っています！先着50名。どうぞお越しください。



各務原キャンパス クリスマス会

12月8日(木)(11:30～12:40)

12月8日(木)(11:30～12:40)

場所：新学生ホール

学生会主催の地域の皆さんと共に過ごすクリスマス祝会です。スタンドグラスが素敵な「グローリアホール」にてのクリスマス礼拝から始まり、ダンスサークル「ブルーリボン」チアリーダーサークル「RedBaby's」などのパフォーマンス披露のほかにも皆さんで楽しめる企画が満載です。どなたでもご自由にご参加ください。

幼児教育学科学生

ラ・ルーラ見学実習

12月7日(水) 1月11・18日
(10:30～12:00頃)

幼児教育学科1年の学生が、ゼミ単位(20名位)で見学実習に参ります。学生と一緒に遊びませんか？先日(11/30)から始まり子どもたちと線路のおもちゃやドールハウスで遊んだりロフトに上ったりと楽しい時間を過ごしていました。いつもとは少し違うラ・ルーラをお楽しみください



教育学部学生による クリスマス会

12月8日(木)(11:30～12:40)

12月13日(火)(9:30～10:40)

場所：保育演習室

教育学部3年生の学生が「保育内容演習Ⅱ B(環境)」の授業にて「クリスマス会」を計画しました。ペープサート等いろいろ楽しいプログラムを考えています。小さなお子さんもお気軽にご参加ください。申し込みの必要はありません。

吹奏学部定期演奏会

12月25日(水)(開演13:30) 関市文化会館大ホール

毎週ラ・ルーラで「ランチタイムコンサート」を開いてくれる吹奏学部の学生たちが関市文化会館にて定期演奏会を開催します。こちらは大人向けの演奏会(未就学児入場不可)です。たまには子育てを離れて本格的な演奏会に出かけてみませんか。





＜ラ・ルーラ開設日＞火・水・木・金・土曜日（時間 10:00～16:00）



催しがあるときも ラ・ルーラ内では自由に遊べます。

1 月の予定						
日	月	火	水	木	金	土
1 休み	2 休み	3 休み	4 休み	5	6	7
8 休み	9 休み	10	11 ママと遊ぼう 11:00～11:45	12	13 移動図書館 11:00～	14 作って遊ぼう 11:00～
15 休み	16 休み	17 11:00頃～ お母さんのための リフレッシュ講座	18	19 みんなで遊ぼう 11:00～11:45	20	21
22 休み	23 休み	24	25	26 赤ちゃん集まれ 11:00～11:45	27 1月の誕生会 12:40～13:00	28
29 休み	30 休み					

12/28 より 1/4 の期間は年末年始の為、おやすみです。

1 月の行事 * 内容紹介

14日 作って遊ぼう 工作遊び 「羽子板遊び」

牛乳パックで羽子板を作り、風船を使って羽子板遊びをします。大人でも楽しめます。いつものように空き箱などの廃材を使っての工作遊びも平行して遊べます。

17日 お母さんのためのリフレッシュ講座 「編み物」

マフラー・バック・シュシュなど作品はお好みで。初心者でも大丈夫。毎回素敵な作品が仕上がります。時間をかけて作品作りを楽しみましょう。

11日 ママと遊ぼう（1～3歳児対象） 「小麦粉粘土遊び②」

先月に引き続き第2弾。小麦に水を混ぜ食紅で着色し小麦粉粘土を作って遊びますが、今回は粘土べらやカップも用意します。どんなごっこ遊びが出来るかな。

13日 移動図書館 ・読み聞かせ 図書館スタッフによる 本の紹介と読み聞かせ

19日 みんなで遊ぼう（2～3歳児対象） 「お正月遊び（羽子板とコマ）」

今回は羽子板を作ってから遊びます。さてどんな遊びに広がるでしょう。ママと一緒に友達と一緒にいろいろな遊びを楽しみましょう。

27日 誕生会 1月生まれのお友達を みんなで祝います。

26日 赤ちゃん集まれ（0歳児対象） 親子ふれあい遊び & 交流

火曜日曜日または金曜日（詳細未定） 吹奏学部の学生によるランチタイムコンサート

尚、各行事・催しは定員 15～20 組、準備のため事前参加申込みが必要です。催しに参加されない方は申し込みの必要はありません。いつでもご自由におこしください。
お問い合わせ先 TEL：058-375-3605 FAX：058-375-3609